

平成23年4月22日

平成22年度空気調和・衛生工学会近畿支部学術研究発表会
近畿支部学術研究発表会奨励賞の選考結果について

(社) 空気調和・衛生工学会近畿支部
支部長 中尾 正喜
学術研究発表委員会主査 梅宮 典子

空気調和・衛生工学会近畿支部では、平成22年度「近畿支部学術研究発表会奨励賞」について厳正に審査した結果、下記の6編を受賞論文に選定したのでお知らせします。

記

- A-8 偏光顕微鏡画像を用いた浮遊石綿の光学的特徴に関する研究
佐藤星河(大阪大学) 井上義雄(大阪大学) 近藤明(大阪大学)
- A-21 建物群幾何学形状の持つ日射受熱特性のモデル化に関する研究
ー均等配置モデルとの比較ー
堀田裕子(大阪市立大学) 西岡真稔(大阪市立大学) 中尾正喜(大阪市立大学)
鍋島美奈子(大阪市立大学)
- A-60 中小規模建物における換気状態の簡易評価に関する研究
石黒亮(立命館大学) 近本智行(立命館大学) 前田崇瑛(立命館大学)
- A-71 井水熱源氷蓄熱システムにおける性能検証・評価に関する研究
(第2報) 井水最適利用に向けた取り組み改善策とその結果
岸本卓也(関西電力) 木虎久隆(関西電力) 中田茂郎(日建設計) 下田吉之(大阪大学)
永恵慎也(大阪大学)
- A-76 潜熱蓄熱材と除湿材を併用したデシカントシステムの熱・湿気特性に関する研究
(その1) 数値計算による吸放湿性能予測
山口麻有(大阪大学) 桃井良尚(大阪大学) 相良和伸(大阪大学) 山中俊夫(大阪大学)
甲谷寿史(大阪大学)
- B-2 配管摩擦抵抗低減剤と推定末端差圧保証制御
ー某大規模ビルへの剤導入結果とポンプ制御の検討ー
門脇宏和(新日本空調) 岸本章(大阪ガス) 青木浩一郎(大阪ガス) 横川義明(アーバネックス)
三宅康夫(アーバネックス) 山本彦衛(大阪ガス・トータルファシリティーズ) 井口泰男(新日本空調)
西浩之(新日本空調) 岡崎徳臣(新日本空調)

以上

平成22年度空気調和・衛生工学会近畿支部学術研究発表会
近畿支部学術研究発表会奨励賞の選考について

(社) 空気調和・衛生工学会近畿支部
支部長 中尾 正喜
学術研究発表委員会主査 梅宮 典子

空気調和・衛生工学会近畿支部では、平成22年度近畿支部学術研究発表会に際し、若手研究者・技術者に対して学術講演会への参加意欲を高めるとともに、発表論文の内容・水準・講演技術の向上に対するインセンティブを与えることを目的として、「空気調和・衛生工学会近畿支部学術研究発表会奨励賞」を選考しました。

審査における評価項目、評価方法は下記の通りです。

記

1. 評価項目

審査における評価項目は、以下の3項目とします。

- 1) 新規性・独自性（独創性や将来性を評価）
- 2) 学術貢献性（学術への貢献度を評価）または工学応用性（実務への応用性を評価）
- 3) アピール力、プレゼンテーション（論文の表現や当日の発表を評価）

2. 審査方法

1) 審査担当者

セッションの司会者および各室3名の審査員

2) 賞の目的に鑑みて、過去の受賞者は審査の対象外とします。

3) 第一段階審査

研究発表会において、司会者が担当セッションの中で最高点を付けた発表、各審査員が2番目までの得点を与えた発表の発表者を候補とします。

4) 第二段階審査

各室3編を目安に、第一段階審査による候補から司会者および審査員の評価点平均値の上位より表彰者を定めることとし、学術研究発表会委員の合議により決定します。
原則として技術報告部門からも1編を選定します。

3. 審査員

平成22年度の審査員は以下のとおりです。

第1室: 相良副支部長(大阪大学)、磯田憲生先生(奈良女子大学)、白木一成様(大阪ガス)

第2室: 中尾支部長(大阪市立大学)、梶井宏修先生(近畿大学)、木虎久隆様(関西電力)

以上